

■ブース 3■

NPO 法人こども哲学おとな哲学アーダコーダ 活動紹介

キーワード：こども哲学 (P4C)、哲学カフェ、ビジネス哲学対話、人材育成、進行役派遣

NPO 法人こども哲学おとな哲学アーダコーダ

「こども哲学 おとな哲学 アーダコーダ」は、正解のない問いについてグループで考える哲学対話を社会の中で実践的に活用するためのスキルやプログラムを提供する、NPO です。

「アーダコーダ」の哲学対話は、幼稚園に通う子どもたちから、年配の方まで対象年齢を問いません。毎日の暮らしの中にある正解のない疑問や不思議のタネについて、あーだこーだと考えを交換し、お互いが時間をかけて考えを深めることができる時間を提供します。



現在、人材育成事業として「こども哲学入門講座、実践講座」などを実施。「哲学対話について知りたい」「自分でもやってみたい」という方を対象に、理論や歴史、考え方や進行のヒントについて学ぶ場をひらいています。ほか、進行役・講師派遣、イベントの企画、コーディネーター、映画、絵本、教材などの監修を行っています。

*ビジネス哲学対話プログラム:「フェリックス・パートナーズ株式会社」と業務提携し行っています。
*Eテレ「Q ～こどものための哲学～」: 問いをきっかけに、「自分なりの答え」を見つける力を養う日本初のこども哲学番組の、制作協力を行っています。

<事業目標>

■vision 目指す社会像

人々が考え方の違いや自らの変化を受け入れ、自らの意見を臆することなく伝え、自由な発想で対話できる社会をつくる。

■Mission 果たすべき使命

価値観や生き方が多様化する社会で、子どもからおとなまで広く抱えているコミュニケーションの難化という課題に対して、相手の意見を聞き、自分の意見を伝えて、正解のない問いに向き合いじっくり考える「哲学対話」の時間を提供する。

■Value 提供する価値

相手を待つ姿勢が身につく／意見を持つ主体性が身につく／深く考える思考力が身につく／自分や他人の考え方に気付く

【NPO 法人こども哲学おとな哲学アーダコーダ】<深く楽しく役に立つ 思考の時間を提供する>
NPO。2014年設立。東京を中心に、全国各地で事業を展開している。